

平成22年度 串間市立市木小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

本年度の重点目標

- 学力向上及び個性を生かす教育の推進
- 命を大切にし心豊かな児童の育成
- 体力向上と健康教育の充実
- 地域に信頼される学校教育の推進
- 教育環境整備の推進

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	No.1 学校関係者評価コメント
学力向上及び個性を生かす教育の推進	学習指導	○ 学習指導要領の本格実施に向けた取組を行う。	○ 新学習指導要領に応じた教育課程の見直しを図る。 ○ 3年生以上の国語において隣接学年で授業できるよう年間計画の修正を図る。	○ 時数増に対応した週時程のプランを検討しているところである。 ○ 国語の指導計画の研修で先進校を視察した。	3.2	3.2	<p>・地域を誇れる児童が育っていることがわかるが、それをもっとアピールする必要がある。</p> <p>・新聞投稿が減ってきた。表現力の向上に力を入れたということを地域に知らせた方がよかったのではないかと思う。</p> <p>・スピーチ集会はすばらしい取組だがその場面も見たかった。他者理解や受容と共感、社会性等を身に付けるためには意義深いと思う。</p> <p>・神戸詩碑祭、青少年の声を聞く会でも自分の思いを素直に表現できていた。日頃の学習の積み重ねや表現力の育成がなされたのではないか。学習発表会の発表や掲示物の中に子どもたちの成長が見受けられた。医者立場からしても、子どもが自分の症状を言えることは大切である。</p> <p>・学力面では、現在の取組を継続していくようにしてほしい。</p>
		○ 授業力向上・教育課程の工夫を行い、基礎基本の定着を図る。	○ 基礎的・基本的事項の指導を徹底し、各単元テストの平均達成率85%以上を目指す。 ○ 少人数を生かした学習指導や複式指導の工夫をし、児童の80%以上が授業に対し、満足感をもてるようにする。 ○ 学習訓練を徹底する。 ○ 授業や習熟の時間において、基礎学力向上の工夫・改善を図り、個別指導の充実に努める。	○ 少人数であるため、各児童の実態に応じた指導を展開することができた。基礎的事項の定着には家庭との連携も重要であるが、家庭学習の習慣化が図られつつある。 ○ 職員の研究授業も全員行うことができた。 ○ 基本的な学習習慣を「学習名人」として児童に提示し意識化を図った。 ○ Web 単元システムの活用がなされた。 ▲ パワーアップタイムの計画的な運用がなされたかの検証が不足した			
		○ 書く・話すなどの表現力を向上させる。	○ 児童がいきいきと自分の考えをスピーチできるようにするための場の設定を工夫する。 ○ スピーチに係わる学級での取組を充実させる。	○ スピーチ集会を繰り返し実施することにより自分の意見や考えをはきはきと発表できる児童が増えた。 ▲ 新聞投稿が今一つであった。			
		○ くしま学の教材を開発する。	○ 市の一貫教育研究発表会の「くしま学」部会で充実した研究発表をする。 ○ 総合的な学習の時間の年間計画を見直す。	○ 総合的な学習の時間に「くしま学」を取り入れた年間計画を整備し、地域の協力者を得て充実した授業及び研究発表を行うことができた。 ▲ くしま学の新しい教材開発が課題である			

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	学校関係者評価コメント
命を大切にし心豊かな児童の育成	生徒指導	○ 生命尊重を図る指導の充実を図る。	○ 常時指導の徹底を図る。 ○ 登校班における交通安全指導の徹底を図る。 ○ 全校朝会等全児童が集まる場での具体的な指導を行う。 ○ 家庭との連携を図る。	○ 校長自ら登校指導を継続し、登校状態が改善された。 ○ 毎日集団下校を行い、下校集合時に安全指導を継続した。 ○ 非常時訓練も計画的に実施できた。 ○ 集団登校の在り方について参観日に登校班の保護者ごとの話し合いをもった。	3.2	3.2	<p>学校関係者評価コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の登校指導は感謝している。登校時の子どもたちとの会話に中に見られる様々な情報にアンテナを高くしておられることにも感謝している。</li> <li>・下校時の様子を見てみると安全面への意識が今一つのようなので、学校でも指導を繰り返してほしい。</li> <li>・読書力の向上について、尺度を検討する必要がある。</li> </ul>
		○ 人間尊重を基盤に捉えた人権教育の推進を図る。	○ 定期的に教育相談を実施し、悩み等に早期対応する。 ○ 体験活動や児童会集会活動の充実を図る。	○ 全職員で分担した教育相談を毎月業間時に実施した。 ○ 様々な人との出会いを通して、学びある体験活動を図ることができた。			
		○ 心の教育の推進のための道徳の時間及び読書活動の充実を図る。	○ 読書環境の充実を図る。 ○ 児童に年間低学年100冊以上、中学年80冊以上、高学年60冊以上の本を読むようにさせる。 ○ 読書貯金通帳の活用を図る。	○ 目標の達成に向けて努力中であるが、図書管理システムを導入し、図書の貸出返却をシステム化すると共に、書棚の新設など、読書環境の整備も図ることができた。			
体力向上と健康教育の充実	保健体育指導	○ 児童がいろいろな運動に親しむ機会をつくりバランスのよい体力の向上を図る。	○ 新体力テストにおいて個人目標達成80%を目指す。 ○ 業間活動を通して、計画的・継続的に体力向上を図る。	○ 業間時に季節に対応した体力づくりを年間通して全職員で協力しておこなった。 ○ 体育の授業力向上のために体育実技研修会の伝達講習会を実施した。	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を食べている児童が100%はすばらしいが、何を食べているのかという質的な調査を試みるのもよい。</li> <li>・学習発表会では跳び箱や縄跳びが上手にできていた。体力づくりの成果が表れているのではないかと。</li> </ul>
		○ 児童が各教育活動に集中して取り組むために、生活のリズムを定着させる。	○ ナイス市木っ子デイ親子チェックにおける基本的な生活習慣の定着率80%を目指す。 ○ 元気アップ通帳を基本とした基本的な生活習慣の育成を図る。 ○ 学校保健委員会を基本的な生活習慣の育成をねらいとして実施する。	○ 元気アップ通帳により基本的な生活習慣の重要性を繰り返し確認することができ、児童の意識も向上してきた。(朝ご飯100%) ○ 学校保健委員会ではゲームやテレビ等のメディアとの関わりについてワークショップ形式で協議し、保護者の主体的な意見を引き出すことができた。			

評価項目		評価指標	具体的数値目標及び努力事項等	結果の考察・分析及び改善策	自己評定	外部評定	学校関係者評価コメント
地域に信頼される学校教育の推進	地域連携	○ 総合的な学習の時間及び「くしま学」等において地域の人材を招聘する。	○ 地域に根ざした教育を推進をし、総合的な学習の時間や「くしま学」の充実を図る。	○ 地域素材や人材を教科等の指導の中で役立てることができた。	3.6	3.6	<p>・小中合同の行事はよくやっている。</p> <p>・学習発表会の際の発表で地域学習がなされていることが伺えた。(幸島、石波海岸、アカウミガメ)</p> <p>・子どもが地域の魚や鳥などにも興味をもって見ている。他の生き物の成長を見守り、生きることの大切さを感じ取ることができるようだ。</p> <p>・学校だよりでも学校の様子がよくわかる。</p>
		○ 学校の様子を新聞、学校だより、ホームページで発信する。	○ 学校の Web ページをリニューアルする。 ○ 「学校だより」を家庭・地域に配付したり、ブログの更新をしたりすることにより積極的な情報公開を行う。	○ IT支援員が配置され、当初の計画通り学校 Web ページをリニューアルすることができた。  ○ 学校だよりを継続的に発行し、地域へも回覧板と同時に配付することができた。			
		○ 開かれた学校を目指し、特色ある学校教育に努める。	○ 児童の課題克服に向けた市木ならではの教育を進める。 ○ 地域の行事等にも協力する。	○ みやざき子ども教育週間でオープンスクールを実施した。 ○ 地域の最大行事である市木柱松に子ども柱松として参加協力することができた。			
		○ 保・小・中連携の充実を図る。	○ 小中連携授業の実施を図る。 ○ 保小連携の取組を実施する。 ○ 小高連携の取組を実施する。	○ 中学校と連携した授業研究会を実施することができた。 ○ 県立福島高等学校に配置されているALTを活用した授業を実施することができた。			
教育環境整備の推進	教育環境整備	○ 学校・学級内の機能的な整頓に努める。	○ 校内施設の安全点検を定期的に実施すると共に配置の見直しを図る。	○ 耐震工事により教室内が整備された。 ○ 懸案であった非常階段が設置された。 ○ 学級を教室棟1階に集約し、職員の目配りができるようにした。	3.3	3.3	<p>・校舎が耐震工事によってすばらしくなった。</p> <p>・野菜作りが食育の向上につながっているの、野菜嫌いも減ってくるのではないかな。</p> <p>・掲示板が楽しいものになっている。先生方ががんばりがよくわかる。子どもたちも学校に来るのを楽しみにしているのではないかな。</p>
		○ 作品等を展示するなど、効果的な掲示に努める。	○ 計画的で、持続性に富んだ設営等を工夫し、学習環境の整備・改善に努める。	○ 校門前の掲示等職員で分担して取り組むことができた。 ▲ 廊下の掲示物の更新があまりなされなかった。			
		○ 学校・学級園等の整備を図る。	○ 計画的に学級園の整備に努める。	○ 学級園での野菜作りなど土に親しむ活動が年間を通して見られた。 ▲ プランターの植物の世話活動が不足していた。			